

令和5年度 錦川鉄道生活交通改善事業計画(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)

1 事業の目的・必要性

錦川清流線は、過疎化・高齢化の進む沿線地域において通勤・通学・通院等の住民生活を支える重要な交通手段となっているが、旧国鉄岩日線川西～河山間の開業以来50年以上が経過し施設全体の老朽化が進んでいる。

ケーブル交換・並まくらぎをPCまくらぎに交換、レールの交換【重軌条化】、橋りょう橋側歩道新設・木まくらぎの交換【同種更新】、レールの交換【同種更新】を行う事により、近年頻発する異常気象による自然災害に対する災害対応能力を強化し防災・減災に努めるとともに、輸送の安全を保つ必要がある。

また、平成20年に導入した車両に全般検査を実施することによって、輸送の安全の確保を図る。

2 事業の定量的な目標及び効果

錦川清流線は、開業以来赤字経営を余儀なくされており(令和3年度経常損失122,412千円)、損失補てん等のために積み立てた基金の減少も著しい(開業当初660,000千円から令和4年度末84,711千円に減少)。こうした中、鉄道施設総合安全対策事業費補助(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)等を活用し、老朽化した鉄道施設の更新を行うことにより災害対応能力を強化し防災・減災に努めることで、13万0千人(令和3年度年間利用者)の輸送の安全を向上させる。

3 事業の内容と当該事業を実施する事業者

別紙1に記載

4 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和5年度事業費 91,390千円

負担額	国	: 30,463千円(負担割合 33.33%)
	山口県	: 5,050千円(負担割合 5.53%)
	岩国市	: 10,100千円(負担割合 11.05%)
	基金	: 5,050千円(負担割合 5.53%)
	錦川鉄道	: 40,727千円(負担割合 44.56%)

5 計画期間

別紙1に記載

6 協議会の開催状況と主な議論

令和5年5月26日(第1回) 事業内容、費用負担について議論

費用負担を含む計画全体について合意

(協議会の構成)

別紙2「岩国市地域公共交通活性化再生法協議会委員名簿」のとおり

岩国市地域公共交通活性化再生法協議会

令和5年5月26日

鉄 道 軌 道 安 全 輸 送 設 備 等 整 備 事 業 計 画
事業実施事業者名:錦川鉄道株式会社

計画期間 5 年 (単位:千円)

設備・保存費の区分	整 備 の 概 要											備 考
		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)		令和8年度 (2026年度)		令和9年度 (2027年度)		
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
信号、通信線	ケーブル更新	22,860	南河内～行波間 9K595m～11K058m L=1463Km	23,900	南河内～北河内間 11K058m～12K504m L=1,446Km	27,200	南河内～北河内間 12K504m～13K900m L=1,396Km	30,300	河山～錦町間 30K800m～32K727m L=1,927Km	27,150	森ヶ原～清流新岩国間 3K490m～5K218m L=1,728Km	
電子閉塞装置	制御盤改修			6,400	錦町構内 制御盤1台							
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新	7,440	河山～柳瀬 28k345m～28k460m 92本									
橋りょう	橋梁コンクリート補強					3,100	南河内～行波 1箇所			3,150	守内かさ神～南河内 1箇所	
小 計		30,300		30,300		30,300		30,300		30,300		
レール	重軌条化	5,350	行波～北河内駅間 11k846m～11k976m L=130M	5,500	北河内～棕野駅間 14k429m～14k539m L=110m			6,600	行波～北河内駅間 11k299m～11k466m L=167m	6,600	行波～北河内駅間 7k711m～8k847m L=136m	
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新			7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 90本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 87本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 85本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 85本	
橋りょう	橋側歩道新設	8,650	北河内～棕野 15k222m～15k244m L=21.4m			7,550	北河内～棕野 20k514m～20k524m L=19.2m					
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】	9,600	北河内～棕野 橋マクラギ`52本 根笠～河山間 並マクラギ`50本	9,600	根笠～河山間 並マクラギ`290本	9,600	森ヶ原～錦町間 280本	9,600	森ヶ原～錦町間 280本	9,600	森ヶ原～錦町間 280本	
レール	レールの更新 【同種更新】	1,200	行波～北河内間 13K250m～13K300m L=50m	1,200	行波～北河内間 13K300m～13K350m L=50m	1,200	森ヶ原～錦町間 100m	1,200	森ヶ原～錦町間 100m	1,200	森ヶ原～錦町間 100m	
軌道道床	MTTによる総つき固め	13,290	南桑～河山間 26K500m～31K800m L=3,000M	13,290	清流新岩国～行波間 3K900m～9K600m L=2,900M	13,290	森ヶ原～錦町間 2,900m	13,290	森ヶ原～錦町間 2,900m	13,290	森ヶ原～錦町間 2,800m	
車両	車両制御装置の更新			1,500	3001号 1両							
車両	重要部検査			22,000	キハ40 1両			12,500	3001号 1両	12,500	3002号 1両	
車両	全般検査	23,000	3002号 1両	23,000	3003号 1両	23,000	3004号 1両					
車両	車輪交換			5,400	3003号、3004号 2両	3,400	3002号 1両					
小 計		61,090		89,090		65,640		50,790		50,790		
合 計		91,390		119,390		95,940		81,090		81,090		

注) 1. 「設備・保存費の区分」欄は、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に関する運用方針」別表の工事内容の区分又は鉄道事業会計規則に基づき記載すること。
2. 計画期間内において実施する設備整備がない場合は、「事業費欄」に「0」を記載すること。
3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

(単位:千円)

設備・保存費の区分	整 備 の 概 要	令和5年度						
		全体		国	県	市	基金	事業者
		事業費	整備対象箇所					
保安通信設備	ケーブル交換	22,860	南河内～行波 9K595M～11K058M L=1,463M	7,620	3,810	7,620	3,810	0
線路設備	並まくらぎをPCまくらぎに交換	7,440	河山～柳瀬 28K345M～28K460M 92本	2,480	1,240	2,480	1,240	0
小 計		30,300		10,100	5,050	10,100	5,050	0
線路設備	レールの交換【重軌条化】	5,350	行波～北河内 11K846M～11K976M 130M	1,783				3,567
線路設備	橋りょう橋側歩道新設	8,650	北河内～棕野 15K221m～15K245m L=22.7M	2,883				5,767
線路保存費	木まくらぎの交換【同種更新】	9,600	北河内～棕野間 橋まくらぎ41本 根笠～河山間 並まくらぎ52本	3,200				6,400
線路保存費	レールの交換【同種更新】	1,200	行波～北河内 13K250M～12K300M 50m	400				800
線路保存費	道床補充 MTTによる総つき固め	13,290	根笠～錦町 26K500m～31K800m L=3,000M	4,430				8,860
車両保存費 (訪日)	全般検査	23,000	3002号	7,667				15,333
小 計		61,090		20,363	0	0	0	40,727
合 計		91,390		30,463	5,050	10,100	5,050	40,727
負担率(%)		100%		33.33%	5.53%	11.05%	5.53%	44.56%

収支計画参考資料

(単位：千円)

	R 4 (確定)	R 5		R 6		R 7		R 8		R 9	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
旅客運輸収入	37,707	47,352		54,842		56,544		57,963		59,098	
運輸雑収	21,679	22,079		22,479		22,879		23,179		23,479	
収入計	59,386	69,431	0	77,321	0	79,423	0	81,142	0	82,577	0
運行費用	200,967	200,967		220,967		200,967		200,967		200,967	
鉄道事業収支	-141,581	-131,536	0	-143,646	0	-121,544	0	-119,825	0	-118,390	0
その他関連事業収支	6,982	12,554		18,125		18,125		18,125		18,125	
全事業収支	-134,599	-118,983	0	-125,521	0	-103,419	0	-101,700	0	-100,265	0

年度	旅客運輸収入
H30	45,366
R1	50,869

年度	関連事業収支
H30	18,125

①増収策内訳		2,386	0	4,773	0	6,875	0	8,594	0	10,029	0
企画・イベント列車		1,986		3,973		5,675		7,094		8,229	
鉄印帳等／運輸雑収		400		800		1,200		1,500		1,800	
②経費削減策内訳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
改善効果 (①+②)		2,386	0	4,773	0	6,875	0	8,594	0	10,029	0

「旅客運輸収入」の算定については以下のとおりとする

R5は、H30と同程度の収入を見込み、さらに「①増収策（企画・イベント列車）」の増加分を加算する

R6以降は、R1と同程度の収入を見込み、さらに「①増収策（企画・イベント列車）」の増加分を加算する

「運輸雑収」の算定については以下のとおりとする

R5以降は、不確定要素もありR4の水準で移行すると見込み、さらに「①増収策（鉄印帳等）」の増加分を加算する

「運行費用」の算定については以下のとおりとする

R5以降は、経営努力により維持すると見込む（物価上昇は通常経費見直しで相殺）

R6は、キハ40の重要部検査（+20,000）を見込む

「関連事業収支」の算定については以下のとおりとする

R5は、R4とR6の中間程度の収支を見込む

R6以降は、H30と同程度の収支（18,125）で移行すると見込む

「企画・イベント列車」はR5計画（29本、予定定員1,135人、2,837千円）を基準とし、算定については以下のとおりとする

R5は、計画の催行率70％を見込む

R6は、R5計画の140％を見込む

R7は、R5計画の200％を見込む

R8は、R5計画の250％を見込む

R9は、R5計画の290％を見込む

「鉄印帳等／運輸雑収」は表のとりの増収を見込む

全事業収支は営業損益

鉄道事業者の収支改善計画

(単位：百万円)

	R4(確定)	R5		R6		R7		R8		R9	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
旅客運輸収入	38	47		55		56		58		59	
運輸雑収	21	22		22		23		23		24	
収入計	59	69	0	77	0	79	0	81	0	83	0
運行費用	201	201		221		201		201		201	
鉄道事業収支	-142	-132	0	-144	0	-122	0	-120	0	-118	0
その他関連事業収支	7	13		18		18		18		18	
全事業収支	-135	-119	0	-126	0	-104	0	-102	0	-100	0

(上記鉄道事業収支計画に盛り込んだ ①増収策、②経費削減策 の具体的な内容 (内訳))

①増収策内訳		3	0	5	0	7	0	9	0	10	0
企画・イベント列車の販促強化		2		4		6		7		8	
鉄印帳等 (運輸雑収)		1		1		1		2		2	
②経費削減策内訳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
改善効果(①+②)		3	0	5	0	7	0	9	0	10	0

① 増収策

企画・イベント列車の販促強化 / 清流みはらし列車、利き酒列車、運転体験など
鉄印帳等 (運輸雑収) / 鉄印帳を活用した企画、新規鉄印開発など